

平成28年10月28日（金）
愛知県地域包括ケアモデル事業 中間報告会

半田市における地域包括ケアモデル事業（3年目）の取組 （認知症対応モデル）

半田市福祉部高齢介護課
主査 吉川 真人

認知症ドキュメンタリー映画上映会（かかりつけ医普及啓発講座）

テーマ：「かかりつけ医と一緒に認知症患者を支える」

日時：平成28年6月11日（土）
14:00～15:30

会場：アイプラザ半田 講堂

参加者：432人

主催：半田市医師会（在宅医療中核センター）、
エーザイ（株）、半田市

後援：訪問看護ステーション協議会

内容：

【第1部】

○認知症ドキュメンタリー映画「徘徊 ママリン87歳の夏」上映

【第2部】

○ミニ講演会（半田市の認知症支援）～半田市の活動から～



<成果、課題>

- ・認知症に対する理解や認知症の方への関わり方を考えていただく機会となった。
- ・認知症に関する取組みや相談先を多くの方に知っていただくことができた。

高齢者の住まいに関する検討会議

○目的

高齢者（特に低所得の要介護者）の住まいに関して、現状分析、調査・研究、検討する。

○構成メンバー

居宅介護支援事業所（ケアマネジャー）、建築課、半田市包括支援センター、高齢介護課

○開催日・内容

第3回：平成28年6月3日（金）

緊急時における市営住宅への入室について、ケース検討

第4回：平成28年9月2日（金）

住まいに関するニーズ調査（ケアマネ対象）実施について、ほか

<成果、課題>

- ・ケース検討から、市営住宅居住の高齢者について、緊急時に支援者が入室することの承諾書を取ることで、対応することになった。
- ・26年度に実施した当事者対象のニーズ調査とケアマネを感じる現状にギャップがあり、ケアマネを対象にニーズ調査を行うことになった。

施設向けの訪問歯科診療所のリスト作成

歯科診療分野における課題

○地域包括ケアシステム構築の場において、歯科診療分野についてクローズアップされることが少なかった。

- ・訪問歯科診療に対応している市内診療所が少ない。
- ・訪問依頼がないのは、「ニーズがない」からだと思っていた。



悪循環

- ・介護現場では、口腔ケアの必要性をあまり感じていない。（歯の治療や義歯の調整などのイメージが強い）
- ・どの診療所に対応できるのかわからない

○平成28年1月26日（火） 在宅ケア推進地域連絡協議会

- ・「要介護者の口腔ケアの重要性」～在宅で実施できる口腔ケア～ 講座
- ・訪問歯科診療に関するアンケートの実施（58事業所236名回答）



- ・訪問歯科診療を希望するケースが少ない
- ・訪問歯科診療の対応ができる診療内容が分かる診療所リストが欲しい
- ・相談窓口が欲しい

＜成果、課題＞ アンケート結果を受けて歯科医師会が検討し、市内訪問歯科診療に対応できる診療所に呼びかけ、訪問歯科診療所リストを作成。（ケアマネジャー・訪問看護師向け）

紙媒体の医療介護連携ツールの見直し

○在宅医療連携システム（在宅ICTシステム）導入によって、医療介護連携が大きく進んだが、依然、紙媒体のツールを使った連携も多くあることから、在宅医療介護連携部会で検討し、見直しを図った。

○見直した様式

- ・ファクシミリネットワークによる在宅ケア連絡票
- ・ケアプランチェック依頼票
- ・介護サービス利用のための健康診断書



ファクシミリネットワークによる在宅ケア連絡票

氏名 住所 電話番号 FAX番号

〒 年 月 日

種

上記の方につきまして（お尋ねします、ご報告します。）

〒 年 月 日

所属 氏名
電話番号 FAX番号

種

上記の方につきましてお答えします。

〒 年 月 日

所属 FAX番号 氏名

【注意】この連絡票は郵便物として集配することはできません。

平成28年4月1日改定

〒430-0901 浜松市中央区南町三丁目1番1号 浜松市在宅ケア推進協議会事務局

<成果、課題>

・様式の変更自体は軽微なものとなったが、市内で活躍する医療職・介護職も入れ替わることから、様式の存在を知らないことが多く、再度、周知する機会になった。

行方不明・見守りSOSネットワークの設立

○平成26年4月から、主に独居高齢者の孤独死などの未然防止、見守り活動に協力していただく「地域見守り活動協定」を新聞販売店や金融機関などの市内の事業所と締結しているが、協定締結事業所に警察署や消防署、社会福祉協議会などを加え、「行方不明・見守りSOSネットワーク」を発足し、さらに相互の連携強化を図った。



○ネットワーク連絡会議

- ・平成28年10月5日（水）
- ・見守り協定締結事業所 33事業所
- ・高齢者の行方不明発生時の目撃情報提供などの協力を要請（高齢者見守りメール登録）

<成果、課題>

- ・地域を見守る主体のネットワークを明確化でき、情報共有など連携強化を図ることができた。
- ・これまでの見守り活動に加え、認知症捜索時の協力体制が強固になった。

薬剤師による市民講演会

「知って得するお薬講座」

- 実施時期：平成28年10月～11月
- 会場：市内地域ふれあい施設 5会場
- 主催：知多薬剤師会、半田市

- 内容：
薬の上手な使い方、薬の常識あれこれ、
病気別の薬、かかりつけ薬局との上手な
付き合い方など

- 講師：知多薬剤師会会員の薬剤師



参加費 **無料**
(申込み不要)

知って得する お薬講座

「お薬」でお悩みのこと、心配なことはありませんか？
みなさんの「知りたい！」を薬剤師に聞かせてください。

日時：10月21日(金)
13:30~15:00

会場：かりやど憩いの家(豊崎町2-208-7)

講師：飯部 暁 薬剤師(ときわ調剤薬局)

- ◎ 薬の正しい飲み方・薬作用について
- ◎ ジェネリック製品の品質・安全
- ◎ 1日1かかりつけ薬局との適切な付き合い方
- ◎ サプリメントや健康食品の正しい買い方
- ◎ 薬局! 薬の味く仕組み

地域の薬剤師に
気軽に
相談ができます。

主催：知多薬剤師会・半田市
お問い合わせ先：半田市高齢介護課(電話 84-0644)

<成果、課題>

- ・薬剤師会からの申し出により開催に至ったもので、行政との役割分担が良い形で実施できた。

認知症カフェの設置

○認知症の人や家族、地域住民が集うカフェを設置し、互いに交流を図ることで、認知症の早期発見・早期対応につなげるとともに、地域の認知症に対する理解を促進し、認知症の人や家族が地域で孤立しないように支援する。



○27年度に設置した2か所に加え、1か所設置

- ・プラチナカフェ みんなの心【新規】
(医療法人メディライフ) H28.10～
- ・プラチナカフェ りんりん店 (NPO法人りんりん) H27.6～
- ・プラチナカフェ かりやど憩の家店 (住吉コミュニティ) H27.10～

○今後の方向性

29年度は認知症カフェを地域でより広めるために、運営費の補助、認知症カフェの広報という形でカフェ実施団体を支援していく。

<成果、課題>

- ・地域の身近な場所に、認知症に関して気軽に相談できる場所を増やせた。
- ・圏域に1か所以上の設置を目指し、地域の協力を得ていく必要がある。

コグニサイズ教室

○国立長寿医療研究センターの開発したコグニサイズ（認知症予防プログラム）を、昨年度、養成したボランティアが講師となり実施し、参加者の交流を通して、認知機能及び運動機能の向上を図る。

○実施期間 平成28年6月～11月（6カ月間）

○対象 以下の①～③すべてに該当する方

①65歳以上80歳未満

②運動器機能低下に該当する、認知症予防教室に関心のある方（基本チェックリストより抽出）

③会場近辺の小学校区在住

○参加人数 17名

○教室終了後にも、自主グループとして活動が続けられるよう調整中



<成果、課題>

- ・教室開催に向けて、昨年度実施のボランティア育成から、今年度教室を開催することができた。
- ・さらに地域で広くコグニサイズ教室を広めていく必要がある。

行方不明者対応の検討の場を設置

○認知症対応検討会議の部会として、新たなワーキングを設置し、課題に対する対応策・具体的事業を検討・実践した。

○行方不明者対応ワーキング

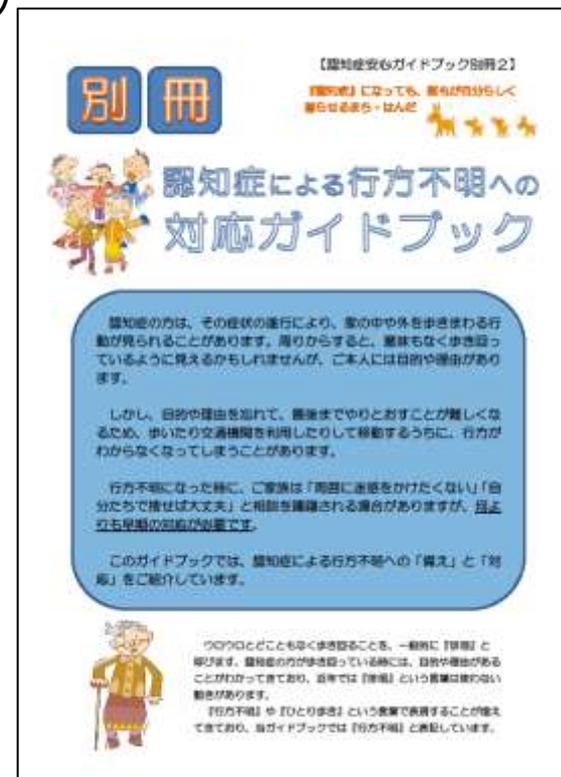
- ・平成28年7月20日（水）
- ・平成28年9月5日（月）
- ・平成28年10月4日（火）

【主な検討内容】

- ・行方不明対応ガイドブックの作成
- ・行方不明搜索訓練の方法
- ・行方不明搜索システム導入

【参加者】

NPO法人代表、知多地域安心ネット、家族代表、民間企業、社会福祉士、ケアマネージャー



<成果、課題>

- ・認知症の方のご家族向けの、行方不明への対応ガイドブックを作成できた。
- ・地域での搜索訓練の開催を進めていく。

認知症初期集中支援チーム

- 設置：平成27年10月より
- 対応件数：12件（終結8件、継続中4件）
（平成28年10月現在）
- チーム員会議：月1回

- ・チーム員会議で決定した支援方針に基づき、支援をスタートする。
- ・訪問するチーム員は、ケース毎に検討して決定する。
- ・実施状況や得られた情報については、在宅ICTシステムで共有する。

- ・在宅ICTの活用により、チーム員が集結しなくても情報共有が可能になる。
- ・チームでの支援の動きを、常に共通理解した上で活動できる。
- ・チームでの支援終結時、チーム対応の情報をケアマネや主治医に引き継ぐことが可能。



認知症初期集中支援チーム

<成果>

- ・認知症サポート医の医学的な視点のアドバイスが、タイムリーに得られる。
- ・介入困難なケースに多職種で多角的なアプローチが展開できる。
- ・かかりつけ医との連携が図られる。
- ・多職種のチームであり、チーム員から各職域へのチームの活動についての説明があることで、様々な協力が得られやすい。
- ・認知症対応の現場の状況をダイレクトに行政が把握でき、施策に繋ぐことができる。

<課題>

- ・包括支援センターの総合相談(認知症)が増加。
- ・包括支援センター対応とチーム対応の振り分けの難しさ。
- ・チーム員同士の都合が合わず、タイムリーな対応がとれない場合がある。
- ・周辺症状悪化等の際に対応時間が長くなり、チーム員の本来業務に影響する場合がある。

ご清聴ありがとうございました

〈お問い合わせ先〉

半田市 高齢介護課 高齢者福祉担当

主査 吉川真人

住所：〒475-8666 半田市東洋町2-1

電話：0569-84-0644

メール：kaigo@city.handa.lg.jp



半田市観光マスコットキャラクター
「だし丸くん」